

開 く、 ミ ュ ー ジ ア ム

みなさんにとってミュージアムはどんな存在ですか?全国各地にあるミュージアム。その在り方は各館の設置目的に応じて多種多様です。本ラウンドテーブルは、様々な声に耳を傾ける空間(ポリフォニックスペース)を各地に創出することを試みているポリフォニックミュージアムの今年度活動の総まとめとして、地域や人々との連携により館の運営を実現している先進的な事例をお聞きしながら、ミュージアムの開き方について、来場のみなさんとも意見を交える場とします。

▼ 講師

柳沢 秀行氏(大原美術館学芸統括)

楠本 智郎氏(つなぎ美術館主幹・学芸員)

岡村 幸宣氏(原爆の図丸木美術館学芸員)

ディスカッションモデレーター:川延 安直(福島県立博物館副館長)

1 / 23

SUNDAY 2022

13:30~16:00

会場:福島県立博物館講堂

申込:来場参加は不要(定員100名)

オンライン参加は要申込(定員50名)

※メール(general-museum@fcs.ed.jp)か

お電話(0242-28-6000)にて、

①参加者氏名、②電話番号、③e-mailアドレスをお知らせの上、お申込みください。

開く、ミュージアム タイムスケジュール

13:30~13:40 主催者挨拶・趣旨説明

13:40~14:10 《地域を創るミュージアム～大原美術館の実践から》

講師：柳沢 秀行氏

14:10~14:40 《地域と創るプロジェクト～つなぎ美術館の実践から》

講師：楠本 智郎氏

14:40~15:10 《人々と育てるミュージアム～丸木美術館の実践から》

講師：岡村 幸宣氏

15:10~15:15 休憩

15:15~16:00 ディスカッション「開く、ミュージアム」

講師：柳沢 秀行氏、楠本 智郎氏、岡村 幸宣氏
 ディスカッションモデレーター：川延 安直

柳沢 秀行 Yanagisawa Hideyuki

1991年～岡山県立美術館学芸員。2002年～大原美術館に勤務。現在、学芸統括。日本の近現代美術史研究。またパブリックアートなどを含め、美術（館）と社会の関係についての調査、実践。



楠本 智郎 Kusumoto Tomoo

2001年よりつなぎ美術館に学芸員として勤務。社会教育事業としてのアートプロジェクトを考案し、アーティストと住民が年間を通じて地域資源を活用しながら表現活動に取り組む「住民参画型アートプロジェクト」を2008年から実施。水俣病の被害を受けた過疎地域におけるアートと美術館の可能性を探っている。



岡村 幸宣 Okamura Yukinori

2001年より原爆の図丸木美術館に学芸員として勤務。社会と芸術表現の関わりについての研究、展覧会企画などを行っている。著書に「非核芸術案内」(2013)、「『原爆の図』全国巡回」(2015)、「未来へ」(2020)など。



【ポリフォニックミュージアムとは】

ライフミュージアムネットワーク実行委員会はこれまで培ってきたネットワークを基盤として、令和3年度より新たにポリフォニックミュージアムを立ち上げました。これはICOM京都大会で提案された「過去と未来についての批判的な対話のための民主化を促す包摂的で様々な声に耳を傾ける空間（ポリフォニックスペース）」を各地に創出するための福島県立博物館の試みでもあります。今年度は各地域固有の歴史文化の再認識・再発見と、そこから立ち上がる課題への向き合い方の考察、その先にある未来像の創出を通じた、ミュージアム的な場の多様な展開により、持続可能な地域社会への貢献を目指します。

【交通のご案内】

- 会津若松駅から約3km タクシーで約10分
- 会津若松駅から まちなか周遊バス「ハイカラさん」で約20分（鶴ヶ城三の丸口下車すぐ）
 まちなか周遊バス「あかべえ」で約30分（鶴ヶ城三の丸口下車すぐ）
- 車椅子使用者用駐車場 博物館西側「鶴ヶ城三の丸口」バス停そば：2台 一般駐車場内博物館入り口側：3台

【お問合せ・お申し込み】

ライフミュージアムネットワーク実行委員会事務局

〒965-0807 福島県会津若松市城東町1-25（福島県立博物館内）

Tel：0242-28-6000（福島県立博物館代表） e-mail：general-museum@fcs.ed.jp

- ・写真1：大原美術館 チルドレンズ・アート・ミュージアム
- ・写真2：柳幸典つなぎプロジェクト《入魂の宿》株分け会
- ・写真3：丸木美術館 ひろしま忌

